湘南医療大学　ティーチング・ポートフォリオ

大学名　湘南医療大学

所 属　専攻科（公衆衛生看護学専攻）

名 前　澤井美奈子

作成日　2026 年 4 月 28 日

１．教育の責任

湘南医療大学設置後、保健医療学部看護学科における保健師課程教育開始時に教員として着任した。その後、保健師教育の上乗せ化として専攻科設置の準備から関わり、2022 年に設置となった関東圏内で唯一の大学専攻科の教員として 5 年目となる。

専攻科公衆衛生看護学専攻は、本学の理念「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」に基づき、学士課程における看護学の知識技術を基盤とし、倫理と安全を守り、変化する地域・社会の健康課題に組織的に対応する公衆衛生看護活動の実践に必要な知識・技術を身につけた実践家として地域の保健医療福祉の向上に貢献する保健師を養成することを目的としている。

保健師課程の専任教員として、これからの保健師に必要とされる知識、技術の修得を目指した専門的教育実践につとめるとともに、看護学科学生のキャリア支援につながる保健師や公衆衛生看護への関心の喚起を目指した働きかけを、大学院では地域・在宅関連科目を担当している。

担当科目は以下の通りである。

・担当科目

専攻科

公衆衛生看護学Ⅰ	ヘルス・プロモーション演習	公衆衛生看護学研究
公衆衛生看護学Ⅱ	公衆衛生看護マネジメント演習	公衆衛生看護学実習Ⅰ
公衆衛生看護活動論Ⅰ	地域アセスメント演習	公衆衛生看護学実習Ⅱ
公衆衛生看護活動論Ⅱ	公衆衛生看護特別演習	

大学院

博士後期課程　地域生活ケアシステム学特論
修士課程　在宅・公衆衛生学特論Ⅱ、在宅・公衆衛生学演習 （今年度開講なし）

２．　私の理念・目的

1)　私の理念

・教員としての自身の特徴、大切にしていること

学生の個別性に寄り添い、潜在する強みや本当の想いを引き出し、学生が主体的に表現できる（伝えられる）力をつけるような働きかけを心がけている。

学生が社会に出てから自分らしく職業生活や日常生活を送っていけるよう、将来を

見通したポジティブかつ無理のないキャリア・ビジョンを考えること、様々な状況においてアサーティブであり必要時に適切な支援を求める力をつけること目指したサポートを行っている。

・学生への期待

誰に対しても、何に対しても「誠実」であることは大切です。

保健師の仕事には様々な困難があると思いますが、自分らしさを活かし、楽しみややりがいを感じられる職業/日常生活を願っています。誰かとゆるやかに繋がり、時々立ち止まりながら歩んでいければいいと思います。

2) 理念をもつに至った背景

学生時代は体育会に所属し部活動に熱心に取組んだ。社会に出てから現在まで同じ武道を通じていっそう広がったネットワークは、様々な状況において支えや資源、強みとなっている。看護分野においても同様である。

学生たちも人との繋がりを通して、自身も他の人も大事にできる看護専門職職となれるのではないかと考える。

３． 教育の方法・戦略

主としてかかわる専攻科の学生は成人学習の対象者である。多様な学修の場を教材として準備し、看護の基礎知識の復習を含め、自身で調べ、まとめ、人に伝える力、チームで取り組むために必要な力の修得を目指している。

・授業の工夫:科目を統合した PBL 型演習

シミュレーション教育

・自己研鑽

JaNSSL(International Nursing Association for Clinical Simulation and Learning)

指導者養成ベーシックコース修了

指導的立場の阿部氏の指導を受けるとともに演習を見学

両立支援コーディネーター基礎研修 修了

日本公衆衛生看護学会認定専門家 認定

４． 学習成果

1） 学生からの授業評価やコメント

興味関心の高いことについて自分で調べ取り組む力が付いた。

対象から本当の気持ちを引き出す方法を理解できた。

など。

2） 教育活動によって得られた成果について

他大学の保健師課程教員との共同研究に参加し、成果を学会等で公表している。

上乗せ大学専攻科教育について保健師教育の団体において情報提供を行った。

看護師課程における地域看護学教育について、学会で成果の一部を発表した。

５．　改善のための努力

専攻科は様々な社会経験や教育背景を持つ人への 1 年間の教育課程である。ディプロマ・ポリシーに示す知識・技術・能力を修得して修了できるよう以下の検討を行っていく必要がある。

1．学校説明会（オープンキャンパス）のみでなく、大学 HP の Q&A 活用等により、専攻科の学習方法や準備について理解いただく。

2．入学前アンケート、入学前課題等により、基礎教育で受けた保健師教育、興味関心などのレディネス状況を把握する。

3．コミュニケーション力を中心に多角的に能力を評価できる方法を検討する。

６．　今後の目標

看護師課程における地域看護学教育および保健師課程への連携教育について分析、発表を行う。

専攻科保健師教育についてまとめて発表の機会を持つ。

【資料】

・専攻科 DP　https://sums.ac.jp/html/advanced-courses/#ac01-10

・専攻科シラバス　https://sums.ac.jp/pdf/department/advanced-courses_syllabus.pdf

・専攻科　公衆衛生看護学研究テーマの概要（一部）

母子保健（仕事と育児の両立、父親の育児参加、食育、不登校）など

成人保健・産業保健（がん検診、透析、治療と仕事の両立、生きがい）など

感染症保健（性教育、若年者の性行動、Covid-19 の影響）など

難病と保健師の活動、ほか